

【声に出して読む】 俳句 種田山頭火 二

まつすぐな道で さみしい

まつすぐなみちで さみしい

手を合わせて 木の実を拾う

てをあわせて きのみをひろう

捨てきれない 荷物をせおって いる

すてきれないにもつをせおっている

ぬれて一人 山をもどれば 母がいる

ぬれてひとり やまをもどれば ははがいる